

JSPHO ニュース No.140 2026/1/13

日本小児血液・がん学会

会員 各位

いつも本学会の活動にご協力いただきありがとうございます。

JSPHO ニュースをご送付申し上げます。

是非、ご一読ください。

◆◆日本小児血液・がん学会最新情報◆◆

(1)専門医制度委員会 更新申請期間のお知らせ

小児血液・がん専門医、指導医、認定外科医、研修集会の更新申請期間は、

2026年2月1日(日)～2026年2月28日(土)〆切(消印有効)となっております。

詳細につきましては、下記学会 HP よりご確認ください。

<https://www.jspho.org/activity/specialist.html>

2024年度より小児血液・がん専門医資格の更新には CLIC 受講歴が必須となっております。

これまでに一度も CLIC 受講歴がない先生方におかれましては更新前に受講して頂けますようお願い致します。

一度でも受講されていればその修了証をご申請時にご提出下さい。

専門医更新申請期間は 2026 年 2 月 1 日から 2 月 28 日ですが、2026 年 3 月 7 日(土)開催の CLIC 受講も更新審査対象に含めることに致します。

CLIC 未受講の更新対象者におかれましては必ず 2026 年 3 月 7 日(土)開催(募集期間:

2026 年 1 月 13 日(火)～2 月 12 日(木)※定員になり次第募集終了)の CLIC を受講してください。

CLIC 未受講の場合、更新は認められません。

今一度、CLIC 受講歴につきましてご確認の上、ご対応をお願いします。

<本件についてのお問合せ>

日本小児血液がん学会 専門医制度事務局:senmoni_jspho@asas-mail.jp

(2)第 23 回北海道大学病院小児がん拠点病院研修会
令和 7 年度小児血液・がんセミナー in 北海道 開催のお知らせ

日時:2026 年 2 月 7 日(土)15:00~18:05

会場:TKP ガーデンシティ PREMIUM

札幌大通カンファレンスルーム 6B

※現地開催のみ

参加費:無料

参加対象者:医療者・医系学生の方はどなたでも参加できます。

※本研修会の完全受講により、小児血液・がん専門医ならびに小児がん認定外科医の申請・更新のための研修単位 5 単位が取得できます。

共催問合せ先:小児血液・がん学会/北海道大学病院小児科 平林真介(TEL: 011-706-5954)

E-mail:hirashin@huhp.hokudai.ac.jp

【参加申し込み】

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfT3FoCFKedrWsiHYk0gho_YUb-7z2LYCi-Ho9kNoQqvo_JOA/viewform?pli=1

詳細はプログラムをご確認願います。

<https://www.jspho.org/activity/files/seminar/20260207.pdf>

(3)小児血液・がんセミナー in Kyoto 開催のお知らせ

日時:2026 年 3 月 7 日(土)13:45~16:15

会場:キャンパスプラザ京都(京都駅から徒歩 5 分)

テーマ:長期フォローアップのその先に 移行期医療支援を考える

※本セミナーの受講により、小児血液・がん専門医ならびに小児がん認定外科医の申請・更新のための研修単位 5 単位を取得できます。

※事前の参加登録は不要です。プログラムおよび会場へのアクセスなどの詳細は下記よりご確認願います。

<https://www.jspho.org/activity/files/seminar/20260307.pdf>

(4)「ジャパンハート 小児がんカンファレンス」のご案内

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 小児科 七野浩之です。

私たちは、2021年1月より、日本小児血液・がん学会国際委員会と日本小児がん研究グループ国際委員会との共催で、(認定)特定非営利活動法人ジャパンハートがカンボジア王国に設立したジャパンハート医療センターと小児がん遠隔カンファレンスを行なっています。

ジャパンハート医療センターは、カンボジア人医師や看護師などの教育を行なながら、それまでカンボジア国内では持続的に治療をされていなかった小児固形がんに対する治療を2018年に開始し、2024年までの7年間に433例の様々な小児がん患者を治療してきました。一例一例の治療方針の決定は、遠隔カンファレンスにおいて、日本人とカンボジア人の小児腫瘍医・小児外科医・放射線診断医・病理診断医などの小児がん専門家による討議により決定しています。このカンファレンスでは多彩な小児固形がん症例が提示され、日本ではなかなかみられない稀少例や進行例を経験することも少なくなく、非常に勉強になります。

私たちはこのカンファレンスに学会員の皆様をお誘いいたします。

単発でも継続しても、短時間でも構いません。ご興味がございましたらお気軽に下記担当医までメールをお送りください。カンファレンスへの参加方法を折り返しお知らせいたします。ご参加を心からお待ちしております。

カンファレンス担当:七野浩之;shichino.h@jihs.go.jp

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

小児科診療科長 望月慎史

カンファレンス担当 七野浩之

(認定)特定非営利活動法人ジャパンハート 嘉数真理子、神白麻衣子

2025年12月23日

(5)第9回日本免疫不全・自己炎症学会総会・学術集会

会期:2026年2月14, 15日(土, 日)

会場:仙台国際センター展示棟

学会HP:<https://9th-jsiad.conferenceweb.jp/>

事前登録締め切り:2026年1月10日

現地会場、オンラインいずれも参加可能です。小児血液・腫瘍学と密接に関連する学会となりますので、小児血液腫瘍合併例のシンポジウムも企画しております。皆様の御参加を心よりお待ちしております。

(6)「こどものがん治療薬開発シンポジウム」の共同開催について

一般社団法人日本小児血液・がん学会、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)、国立研究開発法人国立成育医療研究センター(NCC)、国立研究開発法人国立がん研究センター(NCCHD)、日本製薬工業協会(JPMA)、欧州製薬団体連合会(EFPIA)、米国研究製薬工業協会(PhRMA)は、小児用医薬品、特に抗悪性腫瘍薬の開発促進をテーマとして、小児用抗悪性腫瘍薬の開発に関心のある方々を対象に、各ステークホルダーが抱える実際の課題・問題点を共有し、その解決策を各々の立場から意見交換できる、ステークホルダーが一堂に会した会議を開催したいと考え、「こどものがん治療薬開発シンポジウム」を共同開催いたします。

成人用の医薬品と比べると、小児用の医薬品の開発は、後手に回ることが多く、また、ドラッグロスの約4割は小児用の医薬品とされています。

小児用医薬品のドラッグロス解消に向けた開発計画策定の促進のため、成人用の新医薬品の承認申請者に対して、小児用医薬品開発の計画策定を努力義務とする改正薬機法が2025年5月に成立しました。今般の小児用医薬品開発の計画策定の努力義務化は、その解決策の一つと期待されているところです。また、PMDAでは、小児・希少疾病用医薬品等薬事相談センターを設置し(2024年7月)、小児用医薬品開発計画確認相談の受付を開始するなど様々な取組みがされています。ぜひ、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

【参加登録】

参加登録締切:2026年1月26日(月曜日)正午

参加登録フォーム:

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeUVOLLUXmL8Aju_T0rpew9OugXf2fJ_jOM2GUci6A5ZLfKw/viewform

※現地参加の場合も当日参加登録は行いませんので、必ず事前にオンライン登録をお済ませください。

【開催概要】

●日時:2026年1月31日(土)14時~17時(予定)

(オンライン開場:13時30分、対面開場時刻:調整中)

●開催形式:ハイブリッド形式(対面及びオンライン)

●会場:オンライン配信:2025年12月2日(火)~ 2026年1月16日(金)

●会場:国立研究開発法人国立成育医療研究センター 研究所2階 セミナールーム

●住所:東京都世田谷区大蔵2-10-1

アクセス:国立研究開発法人国立成育医療研究センターのウェブサイトリンクを参照

<https://www.ncchd.go.jp/access/>

●プログラム: タイムテーブルが決まりましたら、PMDA ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/review-services/symposia/0195.html>) に掲載予定です。また、講演内容のポイントを纏めた key visual slide (各講演につき 1 枚程度) を 2026 年 1 月以降に事前掲載予定です。

・開会挨拶

・演者 4 名 (PMDA、NCC、JPMA) による講演

・パネルディスカッション (座長 JSPHO、パネリスト PMDA、JSPHO、NCC、NCCHD、JPMA、EFPIA Japan)

・閉会挨拶

* 事前質問は承っておりません。なお、シンポジウム当日は参加者による active poll (voting) (リアルタイム意見共有ツール) の活用を検討中です。

●参加費: 無料

●定員: 500 名の予定 (うち、対面での参加者は最大 70 名の予定)

●参加登録について:

・参加申込者数が多い場合は、締切日より前に参加登録を打ち切ることがありますこと、ご了承ください。

対面での参加者は最大 70 名の予定としております。つきましては、対面参加希望者が多数の場合には、オンライン参加をお願いする場合がありますのでご了承ください。

・本シンポジウムの運営・管理業務委託業者である、株式会社 LIVEUP からのメール (「@liveup.tokyo」からのメール) を受信可能となるよう、ご使用中のメールソフトの設定等にご協力ををお願い致します。

・参加登録をいただいた方 (対面参加での登録も含む) には、1 月 28 日 (水曜日) 10 時～17 時頃までの間に、株式会社 LIVEUP より、Webex の招待状をお送りします。接続数に上限があることから、招待状の転送は禁止いたします。

・対面参加で登録いただいた方につきましては、シンポジウム当日は、会場受付までお越しください (ご氏名を確認致します)。

●お問い合わせ

以下のアドレス宛にメールでご連絡ください。

(迷惑メール防止対策をしているため、[at]を半角のアットマークに置き換えてください。)

・参加登録、当日の参加方法についてのご質問:

メールアドレス: staff[at]liveup.tokyo

・本シンポジウムの内容についてのご質問:

メールアドレス: pediatric-cancer-sympo2026[at]pmda.go.jp

参加登録を行ったものの、1 月 28 日 (水曜日) 中までに、株式会社 LIVEUP からの Webex の招待状が届いていない場合の連絡先 (下記の 2 つを宛先としてご連絡ください):

メールアドレス: staff[at]liveup.tokyo

メールアドレス:pediatric-cancer-sympo2026[at]pmda.go.jp

●開催者

【共催】独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)、一般社団法人日本小児血液・がん学会(JSOPHO)、国立研究開発法人国立成育医療研究センター(NCCHD)、国立研究開発法人国立がん研究センター(NCC)、日本製薬工業協会(JPMA)、欧州製薬団体連合会(EFPIA)、米国研究製薬工業協会(PhRMA)

【後援】公益社団法人日本小児科学会

●参考

・PMDA 小児用医薬品 WG のページ

<https://www.pmda.go.jp/rs-std-jp/cross-sectional-project/0007.html>

・PMDA 小児用医薬品シンポジウム「充実した小児薬物療法を目指し、国内外の Stakeholder と共に歩む」のページ

<https://www.pmda.go.jp/review-services/symposia/0185.html>

(7)株式会社メディコンよりお知らせ

「プロビアックカテーテルキット」および「ヒックマンカテーテルキット」に関するご連絡

<https://www.jspho.org/files/oshirase/20251218.pdf>

(8)日本医学会からのお知らせ

・令和 7 年 12 月 25 日付にて厚生労働省医政局地域医療計画課より

医療事故情報収集等事業第 83 回報告書の公表について

【通知】関係団体あて

https://www.jspho.org/files/oshirase/20260106_1a.pdf

【別添1】第 83 回報告書のご案内

https://www.jspho.org/files/oshirase/20260106_1b.pdf

【別添2】第 83 回報告書

https://www.jspho.org/files/oshirase/20260106_1c.pdf

【お問い合わせ先】

厚生労働省医政局地域医療計画課

医療安全推進・医務指導室指導係(担当:加藤様)

TEL:03-5253-1111(内線 2580)

E-mail:IRYOUANZEN@mhlw.go.jp

・令和 7 年 12 月 23 日付にて厚生労働省 医政局 研究開発政策課 再生医療等研究推進室よ

り周知依頼

「特定細胞加工物等の製造の許可証及び認定証の書換え交付及び再交付の電子申請について」
「国が行う特定細胞加工物の製造の許可等における登録免許税及び手数料に係る事務処理について」

「特定細胞加工物等の製造の許可証及び認定証の書換え交付及び再交付の電子申請について」
(CPC 宛)

https://www.jspho.org/files/oshirase/20251226_3a.pdf

「特定細胞加工物等の製造の許可証及び認定証の書換え交付及び再交付の電子申請について」
(別紙団体宛)

https://www.jspho.org/files/oshirase/20251226_3b.pdf

国が行う特定細胞加工物等の製造の許可等における登録免許税及び手数料に係る事務処理について

https://www.jspho.org/files/oshirase/20251226_3c.pdf

(別記団体宛)国が行う特定細胞加工物等の製造の許可等における登録免許税及び手数料に係る事務処理について

https://www.jspho.org/files/oshirase/20251226_3d.pdf

【お問い合わせ先】

厚生労働省 医政局 研究開発政策課

再生医療等研究推進室

東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎第 5 号館 19 階

TEL:03-5253-1111(内線 2587)/TEL:03-3595-2430(課直通)

・令和 7 年 12 月 22 日付にて厚生労働省 医薬局医薬品審査管理課より周知依頼

デュピルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(気管支喘息、アトピー性皮膚炎、慢性閉塞性肺疾患)の一部改正について、アテゾリズマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(胸腺癌)について

071222_事_デュピルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン

https://www.jspho.org/files/oshirase/20251226_2a.pdf

071222_事_アテゾリズマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(胸腺癌)について
(関係団体宛て)

https://www.jspho.org/files/oshirase/20251226_2b.pdf

【お問い合わせ先】

厚生労働省 医薬局医薬品審査管理課

デュピルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(気管支喘息、アトピー性皮膚炎、慢性閉塞性肺疾患)の一部改正について

担当:長田様(内線:2740)

アテゾリズマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(胸腺癌)について
担当:佐藤(内線:2736)

・独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)信頼性保証第一部より発出の下記について
周知依頼

「令和 7 年度治験エコシステム導入推進事業成果報告会～あなたが変える治験環境(その2)～
の開催について」

令和 7 年度治験エコシステム導入推進事業成果報告会～あなたが変える治験環境(その2)～
の開催について

https://www.jspho.org/files/oshirase/20251222_2.pdf

「令和 7 年度治験エコシステム導入推進事業成果報告会～あなたが変える治験環境(その2)
～」特設ページ

<https://www.pmda.go.jp/review-services/symposia/0193.html>

信頼性保証業務関連の事業

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/0011.html>

・厚生労働省医薬局医薬品審査管理課より、下記周知依頼がございました。

○令和7年 12 月 22 日 事務連絡

タグラキソフスプ(遺伝子組換え)製剤の使用にあたっての留意事項について

＜厚生労働省ホームページ掲載先＞

<https://www.mhlw.go.jp/hourei/new/tsuchi/new.html>

⇒医薬局をクリックしますと、該当する通知をお探しいただけます。

※発出日または翌日(翌営業日)の 14 時以降に更新されます。

・令和 7 年 12 月 12 日付にて、独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)信頼性保証
第一部より

「治験エコシステムの導入推進を目的とした情報発信及び対応状況調査等への協力のお願い」

https://www.jspho.org/files/oshirase/20251218_2.pdf

(9)【再掲】第 13 回小児血液・がんセミナー in 中部 開催のお知らせ

＜第 13 回小児血液・がんセミナー in 中部＞

日時:2026 年 2 月 17 日(火)19:00～21:00(18:30 より順次接続)

場所:オンライン開催(最大 500 名まで)

お申込締切り:2026 年 2 月 16 日(月)まで

教育講演 1:若林 大志 先生(金沢大学核医学診療科)

「小児神経芽腫 MIBG 治療:核医学から見る神経芽腫」

教育講演 2:荻野 浩幸 先生(名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 名古屋陽子線治療センター)

「小児 AYA 世代の陽子線治療」

※お申込みいただいても、当日の参加者が 500 名を超えた場合は、ご参加いただけませんのでご了承ください。

※本セミナーの受講により、小児血液・がん専門医ならびに小児がん認定外科医の申請・更新のための研修単位 5 単位が取得できます。

参加登録はこちらから

https://us02web.zoom.us/meeting/register/O_I-eqztTpeGcPrKWHMkoQ#/

(10)【再掲】第 4 回遺伝性腫瘍アドバンストセミナー 開催のお知らせ

＜第 4 回遺伝性腫瘍アドバンストセミナー＞

日程:2026 年 2 月 21 日(土)10:00~17:05

開催方法:現地開催(ライブ配信なし)

場所:相鉄グランドフレッサ東京ベイ有明

テーマ:「遺伝性腫瘍診療のトピックス」

オンデマンド配信:2026 年 3 月中旬から 2 か月間配信予定

受講申込登録期間:2025 年 11 月 26 日(水)~2026 年 1 月 31 日(土)23:59 迄

第 4 回遺伝性腫瘍アドバンストセミナー プログラム委員長

中島 健(大阪国際がんセンター 遺伝子診療部 遺伝性腫瘍診療科)

URL: <http://totalmap.co.jp/seminar-jsht/>

第 4 回遺伝性腫瘍アドバンストセミナー案内チラシ

https://www.jspho.org/files/oshirase/20251128_2.pdf

(11)【再掲】認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト「第 11 回 研究助成」募集のお知らせ

「第 11 回 研究助成」募集のお知らせ

募集期間:2026 年 2 月 10 日~3 月 10 日(必着)

助成期間:2026 年 4 月 1 日~2027 年 3 月 31 日

詳細は下記をご確認ください。

・認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト助成募集案内 2026
https://www.jspho.org/activity/files/files_index/20251128_2a.pdf

(12)【再掲】今後の学術集会 会期のお知らせ

＜第 68 回日本小児血液・がん学会学術集会＞

会期:2026 年 11 月 12 日(木)～14 日(土)

会場:パシフィコ横浜ノース(神奈川県)

会長:松本 公一(国立成育医療研究センター)

(13)【再掲】「20 歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」の「2024 年登録症例の集計」の学会 HP 掲載について

小児血液・がん学会会員の皆様

平素より「20 歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」にご協力いただき、誠にありがとうございます。

このたび、2024 年登録症例の集計が完了し、学会ホームページに掲載いたしましたので、ぜひご覧ください。

本研究は、本邦における小児血液・腫瘍疾患の発生状況を明らかにする、きわめて意義深い疫学研究であります。引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

疾患登録

<https://www.jspho.org/activity/toroku.html>

疾患登録集計結果

https://www.jspho.org/disease_record.html

学術・調査委員会

(14)【再掲】＜20 歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究＞(学会疾患登録)を利用した研究審査申請の流れについて

臨床研究の審査申請については、データベース利用の有無によって申請の手順が異なります。

データベースを利用しない場合:研究審査委員会へ研究計画書を提出し、承認を取得してください。

データベースを利用する場合:学術・調査委員会研究計画書を提出し、その後、研究審査委員会

の承認を取得してください。

手続きの詳細についてはそれぞれ下記のページをご確認くださいますようお願い申し上げます。

研究審査委員会

https://www.jspho.org/activity/standing_committee_clinical_research.html

学術・調査委員会

https://www.jspho.org/activity/standing_committee_academic.html

発行:一般社団法人 日本小児血液・がん学会 社会・広報委員会

配信:一般社団法人 日本小児血液・がん学会 事務局(jspho@asas-mail.jp)

※本メールは発信専用アドレスからの配信のため、本メールへの返信をこちらで受信することはできません。